

令和4年度第3回南陽警察署協議会の開催

日 時	令和4年12月21日(水)午後3時から午後5時までの間
場 所	南陽警察署 会議室
出席者	協議会委員：会長以下6名 警察署員：署長以下7名
議 題	○ 「特殊詐欺の検挙と被害防止対策」について

【協議内容等】

議 題	特殊詐欺の検挙と被害防止対策について	
	委員からの意見等	警察署の回答
	<p>特殊詐欺被害者の年齢層は高齢者、そのうち女性の被害者が高いので、対策として、美容室などに協力してもらい、ポスターや事件のファイルを置いてみるのはどうか。</p>	<p>令和元年に山形県警と県理容生活衛生組合が協定を結び、理容店等にチラシを配り、広報しています。 当署管内でも、これを参考に、美容室等に対して協力要請を推進していきます。</p>
	<p>電話が架かってきたときに、海外からの電話と国内からの電話との区別が付けば、特殊詐欺の電話だと気付けるのではないか。</p>	<p>特殊詐欺の犯人グループの中には、海外に拠点を置いて国際電話で日本各地に電話を架けてくるグループもあります。 電話番号は、国毎に番号が異なり、国番号から始まる番号が表示されますので、電話番号の最初に見慣れない数字がある場合は要注意です。 ただし、ディスプレイに通知される番号を偽装するシステムもあるので、常時留守番電話設定にさせていただき、見知らぬ電話番号からの通知は電話に出ないようにするという対策が有効です。</p>
	<p>新型コロナウイルス感染症に対する考え方が変わってきて、会議などに出る機会が多くなるので、いろいろな機会に警察が出席して広報してみてもどうか。</p>	<p>現在、新型コロナウイルス感染症に対する考え方が変わり、以前のように集会関係は一切不可という状況ではなくなり、会議等の開催も増え、講話依頼があった場合は可能な限り防犯講話を行っていきます。</p>
	<p>全国及び県内で主流となっている特殊詐欺の手口は何か。 「やまがた110ネットワーク」以外で、今の主流の特殊詐欺の手口を知らせる方法は何か。</p>	<p>現在、全国的にはオレオレ詐欺による被害が多い傾向があり、山形県内では、架空料金請求詐欺と預貯金詐欺による被害が多い傾向となっています。 「やまがた110ネットワーク」以外で犯罪手口を知らせる方法としては、チラシ</p>

	<p>や交番だよりに掲載するほか、山形県警察では、YouTubeやTwitterなどのSNSによる広報、特殊詐欺被害防止書道コンクール等工夫を凝らして広報しています。</p>
<p>特殊詐欺の被害に遭ってしまった人は、どのような理由でだまされてしまったのか。</p> <p>犯人は、一人暮らしなどの家庭の事情を事前に調べて電話を架けているのか。</p>	<p>特殊詐欺等の犯罪者の間で、過去に被害に遭った人等のリストが出回っているため、それを基に電話を架けている場合があります。</p> <p>特殊詐欺被害者からだまされてしまった理由等を聞いたところ、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 還付金の金額が3万円程度で、本当に戻ってきそうな金額だと信じ切ってしまった ・ NTTを名乗るショートメッセージを信じ切ってしまった <p>などと話しており、被害に遭ってしまった人に共通しているのは、全て「相手と電話で話をしてしまった」ことです。</p> <p>これを防ぐには、自宅の固定電話を常に留守番電話設定にしておくことが一番ですので、今後も防犯講話や巡回連絡を通じて常時留守番電話設定を推進していきます。</p>
<p>特殊詐欺の手口がいろいろと手が込んでおり、コンビニや金融機関の人が気付いて被害を阻止したことがあるが、対策として訓練を行っているのか。</p>	<p>特殊詐欺被害防止のため、管内のコンビニエンスストアやドラッグストアに協力を依頼し、高額な電子マネーを購入しようとしているお客様がいれば声掛けしてもらい、警察に通報することをお願いしています。また、金融機関に対しても、高額な振り込みをしようとしている方に対する声掛けと警察への通報をお願いしており、随時、コンビニエンスストアや金融機関において、警察官が客などに扮した合同訓練も実施しています。</p> <p>今後も、一般企業の皆様のお力を借りながら、官民一体となって特殊詐欺被害の防止に努めていきます。</p>
<p>駐在所の不在時は、インターフォンを押せば警察署につながるのは分かるが、押しにくいので、タブレットなどを設置して、顔が見えるようにしてはどうか。</p>	<p>委員から提案のありました、タブレット等の掲示による顔の見える遠隔応対については、県警本部に意見提案をさせていただきます。</p>
<p>警察の方が出向いて講話を行うことは、有効なので、学童保育や小中学校だけでなく、老人クラブや百歳体操のサロンに出発行って啓蒙してはどうか。</p>	<p>小・中学校、高校に対しては、生活安全課少年補導専門官を中心に、インターネットや薬物等の防犯講話を随時行っています。</p> <p>コロナ禍で高齢者が集う会合等の講話</p>

	<p>は控えていましたが、今後、コロナの感染が落ち着いてくれば、高齢者サロン等における防犯講話を増やしていきます。</p>
<p>特殊詐欺等の電話対策として、100円ショップで売っている「呼び鈴」を電話機のそばに置き、怪しい電話に出ってしまった場合に、呼び鈴を押して、来客が来たことを装い、来客対応のため、電話を切るようにしてはどうか。</p>	<p>早速、委員の御提案を参考にさせていただきます。</p>
<p>身近なところで特殊詐欺が起きていることを知らせることができるので、いろいろな方法で、特殊詐欺の被害阻止事案を広報した方が良い。</p>	<p>被害を阻止してくれた方に感謝状を贈呈し、贈呈式を新聞等で取材してもらい、報道しています。 今後も阻止事案があった際は、交番だよりや講話などいろいろな方法で広報していきます。</p>